

各感染症対策主管課長

各 医 師 会 長 殿

定点観測医療機関長

福岡県医師会

会長 松田峻一良

福岡県結核・感染症発生動向調査解説委員会 週報 平成26年第19週(H26.5.5~H26.5.11)

※ 福岡県医師会ホームページ <http://www.fukuoka.medor.jp>の感染症情報欄にも掲載されていますのでご参照下さい。

病名	報告数	前週比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全国
インフルエンザ	99	4.5%	福岡51、筑後29	0.50	2.52
RSウイルス感染症	10	-7	北九州5、福岡5	0.08	0.11
咽頭炎	72	11.3%	福岡36、北九州25	0.60	0.49
A群溶連菌咽頭炎	310	8.1%	福岡209、北九州64	2.58	1.95
感染性胃腸炎	1142	9.8%	福岡444、筑後361	9.52	7.21
水痘	307	14.0%	福岡148、北九州75	2.56	1.04
手足口病	37	7.9%	北九州18、福岡10	0.31	0.16
伝染性紅斑	3	+1	筑豊1、北九州1	0.03	0.15
突発性発しん	79	9.3%	福岡37、北九州23	0.66	0.54
百日咳	4	+1	福岡4	0.03	0.01
風しん	0	-1		0.00	
ヘルペシギーナ	38	11.2%	福岡19、北九州11	0.32	0.07
麻しん	0	±0		0.00	
流行性耳下腺炎	108	13.7%	北九州59、福岡34	0.90	0.23
川崎病(MCLS)	2	-4	福岡2	0.02	
マイコプラズマ肺炎	9	+3	福岡9	0.08	0.29
クラミジア肺炎	7	+5	福岡6、筑後1	0.06	0.02
細菌性髄膜炎	0	±0		0.00	0.03
無菌性髄膜炎	0	-2		0.00	0.03
急性膵炎	0	±0		0.00	
急性出血性髄膜炎	0	±0		0.00	0.01
流行性角結膜炎	18	+5	福岡11、筑後4	0.69	0.53
性器クラミジア感染症	31	20.7%	福岡21、筑後5	0.84	
性器ヘルペス	8	+1	福岡6、筑豊2	0.22	
尖圭コンジローマ	1	-3	福岡1	0.03	
淋菌感染症	10	+2	福岡6、筑後2	0.27	
梅毒	2	+1	福岡1、筑後1	0.05	

全国情報は平成26年18週分です。全国情報ではマイコプラズマ肺炎138、クラミジア肺炎11例。

平成26年第18週までの累計は、急性灰白髄炎0、結核7752(県内321)、コレラ0、細菌性赤痢33(県内0)、腸管出血性大腸菌感染症312(今週14、県内14)、腸チフス15(県内0)、パラチフス4、E型肝炎50、A型肝炎305(今週5、県内28)、オウム病6、SFTS7、チクングニア熱4、つつが虫病38、デング熱53(県内2)、日本紅斑熱15、日本脳炎0(県内0)、マラリア22(県内0)、レジオネラ症299、アメーバ赤痢350、ウイルス性肝炎85(県内4)、急性膵炎178(県内3)、クロイツフェルト・ヤコブ病52、劇症型溶連菌感染症90(県内5)、後天性免疫不全症候群448(県内21)、侵襲性インフルエンザ菌感染症76(県内2)、侵襲性髄膜炎菌感染症16、侵襲性肺炎球菌感染症683(県内26)、先天性風しん症候群8、梅毒455(県内13)、風しん181(今週10、県内2)、麻しん324(今週9、県内4)例。1類感染症の報告はない。

- ▽ 前週(18週:4/28-5/4)、今週(19週:5/5-5/11)は休日を含むため、報告数の増減の説明は困難です。インフルエンザは定点当り0.50と1.0未満と少なくなり、キットではA+とB+が混在し、B+が多い。感染性胃腸炎ではロタウイルスの報告が多くノロウイルスも報告があります。今週は咽頭扁桃炎、水痘、流行性耳下腺炎等が増加しており、今後の動向に注意してください。大型連休後であり感染症流行にご注意下さい。
- ※ インフルエンザ: 10週前より8366→6218→5576→4231→2055→905→681→551→409→220→99と減少(定点当り0.50、前週1.11; 20歳以上50.5%)。北九州15(前週56)、福岡51(122)、筑豊4(10)、筑後29(32)。キットではA+、B+が混在しB+が多い。全国第18週は定点当り2.52(前週4.03)、沖縄県の10.26が最高。
 ○年齢分布: 今週は0-4歳10.1%(昨年26.9%)、5-9歳17.2(34.9)、10-14歳16.2(16.6)、15-19歳6.1(3.2)、20歳代7.1(3.6)、30歳代11.1(6.0)、40歳代14.1(3.8)、50歳以上18.2(6.0): 今週分と昨年分の比較。
 ○キット陽性: 門司区はつとり小児科1人B+、小倉南区そお小児科2人B+、小倉南区東和病院1人B+、北九州市立医療センター小児科1人B+、九州市立急患センター2人A+、4人B+;(前週9人)、北九州市立八幡病院小児科2人B+、北九州市立八幡病院小児救急センター1人B+;(前週4人)、若松区つだこどもクリニック1人B+、水巻町つだ小児科1人B+、博多区中尾小児科1人B+、中央区後藤小児科1人A+、南区やまなみ小児科1人B+、南区諸岡小児科1人B+、南区井上小児科1人A+、南区福岡病院小児科1人B+、南区徳永内科1人A+、南区野口内科1人A+、城南区武元内科1人A+、早良区まいこ小児科1人A+、福岡市急患センター17人(前週38人)、早良区しばおクリニック3人A+(ワクチン済2人)、早良区中村医院1人B+、春日市横山小児科1人A+、春日市桶口病院1人B+、筑紫野市みぞぐち小児科1人B+、筑紫野市杉原病院1人B+、那珂川町いわお小児科1人A+、糸島市田中みのる内科1人B+、宇美町中西内科1人B+、志免町社保仲原病院2人A+、5人B+、福津市まつなが小児科1人B+、福津市林内科1人B+、宗像市宮原小児科1人A+(オーストラリア旅行後)、田川市たなかのぶお小児科1人B+、飯冢市飯冢病院の前週分3人A+、2人B+、嘉麻市河野医院1人A+、1人B+、久留米市原田医院1人A+、久留米市河野小児科1人A+、1人B+、久留米市かとう小児科1人A+、久留米市いのくち医院1人A+、八女市富田医院1人A+、八女市戸次医院1人A+、筑後市川上小児科1人A+(ワクチン済)、朝倉市きたの小児科1人A+、筑前町やまもと内科消化器科2人A+、1人B+、大川市酒井医院2人A+、1人B+、柳川市よこち医院1人B+、みやま市入江医院1人A+、うきは市とよた小児科10人A+(5/6の運動大会参加者・関係者に流行;ワクチン済2人)。
- ※ RSウイルス感染症: 5週前より39→43→38→17→17→10(4歳以上1人)。北九州5(前週9)、福岡5(5)、筑豊0(2)、筑後0(1)。北九州市立八幡病院小児科の4か月、1歳3人、東区さかもと小児科の1歳、南区諸岡小児科の6か月、福津市まつなが小児科の11か月。
- ※ 咽頭結膜熱: 5週前から33→48→43→58→64→72。北九州25(前週29)、福岡36(27)、筑豊0(1)、筑後11(7)。
 キット陽性: 小倉南区そお小児科の1歳(別に咽頭扁桃炎1歳2人)、小倉南区佐藤こどもクリニックの3歳、小倉北区よしだ小児科の1歳、東区あおばクリニックの11か月、東区荒木小児科の10か月、1歳、南区福岡病院小児科の9か月、1歳、南区諸岡小児科の1歳(別に咽頭炎・気管支炎1歳)、糸島市やました小児科の1、2、3歳、小郡市きのした小児科の1歳3人、3歳、柳川市よこち医院の0-5か月、30歳以上。
- ※ A群溶連菌咽頭炎: 5週前から241→313→416→484→384→310。北九州64(前週67)、福岡209(267)、筑豊6(19)、筑後31(31)。小倉北区よしだ小児科の9歳男は2回目、東区なんり小児科の8歳と11歳は兄弟。発疹合併: 東区さかもと小児科の1歳女、4歳男、東区なんり小児科の8歳男、博多区梅野医院の6歳男、城南区しんどう小児科の2歳女、城南区井上四郎小児科の8歳男、須恵町水戸病院小児科の4歳男、5歳女、久留米市河野小児科の12歳男、大川市酒井医院の7歳女。
- ※ 感染性胃腸炎: 5週前から949→1162→1334→1378→1162→1142(3歳以下48.8%)。北九州361(前週272)、福岡444(495)、筑豊76(111)、筑後261(284)。
 • カンピロバクター: 行橋市みづ子どもクリニックの4歳男、9歳男、城南区しんどう小児科の10歳男、早良区松本小児科の10歳男、早良区おひだこどもクリニックの10歳男2人、早良区中野こどもクリニックの12歳男、西区下村小児科の12歳女、春日市横山小児科の10歳女、14歳女、糸島市やました小児科の14歳男。
 • 大腸菌: 小倉南区おひだこどもクリニックの4か月男に025、9歳女に0114+0112ac、小倉北区よしだ小児科の7歳男に018、7歳男に025、9歳女に01、戸畠区大原小児科の8か月男、1歳男、2歳男に025、6歳女に018、春日市横山小児科の9歳女に01、春日市おの子どもクリニックの11か月男2人に018, VT-, 1歳女に

- 025, VT-、新宮町よしおかクリニックの1歳男に018、1歳女に025、飯塚市こどもクリニックもりたの1歳男に01、8歳男に025、久留米市いもた小儿科の9歳男に020。
- ・ロタウイルス: 小倉南区佐藤こどもクリニックの1歳男、小倉北区よした小儿科の7か月男(ワクチン3回済)、1歳女、2歳女、3歳男、八幡東区橋爪小儿科の1歳男、北九州市立八幡病院小儿科の6か月男、10か月男、女、11か月女、1歳男2人(1人ノロも)、女4人、2歳男3人(1人ノロも)、3歳男、4歳男、5歳男、8歳妹と11歳姉、13歳女、東区あおばクリニックの2歳男、東区荒木小儿科の10か月女、11か月男、1歳男、女、2歳男、博多区梅野医院の11か月女、2歳女、博多区高岸小儿科の1歳男、2歳女、3歳男、女、4歳男、福岡市立こども病院の5歳男、南区福岡病院小儿科の6歳女、南区くろかわみちこ小儿科の1歳男、女2人(1人ワクチン済)、2歳女、城南区井上四郎小儿科の2歳男、早良区松本小儿科の1歳男、西区木下小儿科の1歳男、女、筑紫野市みぞぐち小儿科の2歳男、筑紫野市西尾小儿科の7か月女、1歳男、女2人、7歳女、福津市まつなが小儿科の1歳女、2歳男、4歳男、女、田川市たなかのぶお小儿科の2歳男、女2人、飯塚市飯塚病院の前週分の1歳男2人、女、久留米市河野小儿科の1歳男、女3人、3歳女、朝倉市きたの小儿科の1歳男、女、2歳男、女、3歳男、小郡市きのした小儿科の1歳女、2歳男、3歳女、6歳女、うきは市とよた小儿科の1歳妹(久大病院入院)と2歳兄。
 - ・アデノウイルス: 北九州市立八幡病院小儿科の4歳男、宗像市一木こどもクリニック4か月男、2歳女。
 - ・ノロウイルス: 北九州市立八幡病院小儿科の10か月女、1歳男、2歳男、7歳男、東区なんり小儿科の2歳男(25.1/19; VZ084; 軽症)、7歳女(22.2/24; VZ059; 軽症)、博多区中尾小儿科の4歳男(25.3/15; VZ086; 軽症)、南区くろかわみちこ小儿科の1.6歳男(接種時期等不明; 軽症)、南区井上小儿科の2歳女(25.2/8; VZ084; 軽症)、城南区内田こどもクリニックの3歳男(接種時期等不明; 軽症)、西区木下小儿科の3歳女(24.4/4; VZ075; 軽症)、大野城市松田小儿科の3歳男(24.10/2; VZ081; 軽症)、3歳女(25.6/8; VZ088; 軽症)、筑紫野市みぞぐち小儿科の2歳女(25.8/21; VZ092; 軽症)、糸島市やました小儿科の3歳女(24.1/27; VZ074; 軽症)、福津市まつなが小儿科の6歳女(21.6/19; VZ056; 軽症)、6歳女(21.8/21; VZ057; 軽症)、福津市あいの医院の7歳女(21.4/14; VZ055; 軽症)、8歳男(19.1/10; VZ042; 軽症)、直方市栗原クリニックの3歳男(25.4/12; VZ087; 軽症)。
 - ※ 水痘: 5週前から170→179→178→194→220→307(15歳以上1人)。北九州75(前週67)、福岡148(91)、筑豊23(18)、筑後61(44)。ワクチン済例: 遠賀中間医師会おんか病院の4歳女(H26.3月; VZ098; 軽症)、東区なんり小儿科の2歳男(H25.1/19; VZ084; 軽症)、7歳女(H22.2/24; VZ059; 軽症)、博多区中尾小儿科の4歳男(H25.3/15; VZ086; 軽症)、南区くろかわみちこ小儿科の1.6歳男(接種時期等不明; 軽症)、南区井上小儿科の2歳女(H25.2/8; VZ084; 軽症)、城南区内田こどもクリニックの3歳男(接種時期等不明; 軽症)、西区木下小儿科の3歳女(H24.4/4; VZ075; 軽症)、大野城市松田小儿科の3歳男(H24.10/2; VZ081; 軽症)、3歳女(H25.6/8; VZ088; 軽症)、筑紫野市みぞぐち小儿科の2歳女(H25.8/21; VZ092; 軽症)、糸島市やました小儿科の3歳女(H24.1/27; VZ074; 軽症)、福津市まつなが小儿科の6歳女(H21.6/19; VZ056; 軽症)、6歳女(H21.8/21; VZ057; 軽症)、福津市あいの医院の7歳女(H21.4/14; VZ055; 軽症)、8歳男(H19.1/10; VZ042; 軽症)、直方市栗原クリニックの3歳男(H25.4/12; VZ087; 軽症)。
 - ※ 手足口病: 5週前から46→54→55→58→47→87(15歳以上0人)。北九州18(前週32)、福岡10(9)、筑豊4(0)、筑後5(6)。
 - ※ 伝染性紅斑: 5週前から5→1→7→1→2→3。北九州1(前週0)、福岡1(1)、筑豊1(0)、筑後0(1)。
 - ※ 百日咳: 5週前から2→4→4→2→3→4(15歳以上3人)。南区福岡病院小儿科の11歳男(PT 593)、34歳女(PT 196)、67歳女(PT 721)。
 - ※ 風しん: 10週前から0→0→0→0→1→0→0→0→0→0。全数報告に県内から1例(累計H26年2人): 早良区から35歳女(5/2発症; 発熱、発疹、リンパ節腫脹で臨床診断; ワクチン歴不明)。
 - ※ ヘレパンギーナ: 5週前から8→18→40→54→34→38。北九州11(前週5)、福岡19(17)、筑豊1(0)、筑後7(12)。
 - ※ 麻しん: 10週前から0→0→0→0→0→0→0→0→0→0。全数報告に県内からは今週なし(累計H26年4人)。
 - ※ 流行性耳下腺炎: 5週前から74→74→90→88→79→108(15歳以上4人)。北九州59(前週28)、福岡34(41)、筑豊10(5)、筑後5(4)。ワクチン済例: 行橋市ゆげ子どもクリニックの3歳男(H24.6/22; LC004; 軽症)、東区あおばクリニックの6歳男(H21.4月; 北研LA013; 軽症)、大野城市松田小儿科の5歳女(H23.9/16; 北研LB017; 軽症)、新宮町よしおかクリニックの5歳男(H22.10/12; 北研LB010; 中等症)、久留米市河野小儿科の5歳女(H24.1/12; 北研LB017; 軽症)。
 - ※ マイコプラズマ肺炎: 5週前から12→6→15→14→6→9(15歳以上0人)。東区なんり小儿科の1歳女(PA: 80)、城南区内田こどもクリニックの2歳女(640)、3歳女(160)、春日市おの子どもクリニックの1歳女(80)、3歳女(80)、10歳女(160)、11歳女(80)。西区高崎小儿科の10歳男(抗原検査)。
 - ※ クラミジア肺炎: 南区福岡病院小儿科の1歳男(C. p IgM 2.19)、2歳男(C. p IgM 4.60)、3歳男(C. p IgM 10.38)、5歳女(C. p IgM 3.28)、9歳女(C. p IgM 10.22)、22歳女(C. p IgM 3.51)、久留米市河野小儿科の5歳女(久大医療センターへ)。

- ※ 無菌性髄膜炎：5週前から2→1→1→3→2→0。北九州0(前週2)、福岡0(0)、筑豊0(0)、筑後0(0)。
- ※ 流行性角結膜炎：5週前から17→11→10→12→13→18。キット陽性：八幡西区眼科向野医院の29歳女。
- ※ その他の疾患：アデノウイルス扁桃炎：門司区はつとり小児科の1-5歳4人、小倉南区ひらのサンタキッズクリニックの4歳、北九州市立八幡病院小児科の7か月-3歳11人、八幡西区ともなが小児科の7か月-4歳5人、遠賀中間医師会おんが病院の4歳、早良区おかだこどもクリニックの11か月、2歳、早良区中野こどもクリニックの4か月(キット陽性)。ヘルペス歯肉口内炎：若松区こむら小児科の3歳。IM：北九州市立八幡病院小児科の16歳男。ヒトメタニユーモ：北九州市立八幡病院小児科の3か月-1歳5人、行橋市ゆげ子どもクリニックの1、2、3歳、東区あおばクリニックの2歳、東区荒木小児科の1、2歳、南区くろかわみちこ小児科の11か月、糸島市やました小児科の3歳、小郡市きのした小児科の3か月、3歳。
- ※ STDで他の疾患：非淋菌性非クラミジア性尿道炎：八幡西区林皮膚科泌尿器科の58歳男、行橋市行橋クリニックの29歳男。中央区さきやま泌尿器の45-49歳男はクラミジアと淋菌の併発。
- △ 基幹定点：特記すべき報告はない。

★ ウィルス分離：インフルエンザ：福岡市立こども病院の4/18の5か月男からA/H3型。感染性胃腸炎：戸畠区佐久間小児科の4/9の2歳女からアデノウイルス。[北九州市環境科学研究所、福岡市保健環境研究所]

☆ 国内・国外情報：感染症学会センターホームページ等より

- ・先天性風しん症候群(全数)：今週0人(18週：累計H26年8人；H25年32；24年4；23年1；22年0人)。
- ・麻しん(全数)：今週9人(18週：累計H26年324人；H25年232；24年285；23年434；22年457；21年741人)。
- ・風しん(全数)：今週10人(18週：累計H26年181人；H25年14357；24年2391；23年369；22年89；21年147人)。
- ・鳥インフルエンザ(H7N9)：2013年2/19(初発例)以降3月29人、4月89人、5月2人、7月2人で報告なく10月から再び散発的に、12月から継続して報告あり、1月173人、2月56人、3月は3月27日現在13人が報告され、4/16の報告ではH25年から感染421(10月以降では286)人、死亡142人。
- ・MERS(マーズ)コロナウイルス：5/7；患者496人(前回261人から急増)；サウジアラビアから4/15-5/4の229人の報告あり。

青木 知信